

地域社会への貢献



新光電気グループは、企業活動を通じて豊かな社会づくりを担ってまいります。
また、地域活動等の社会貢献活動を通じ、地域に根ざした企業として地域社会との共生をはかります。

地域社会との共生・対話

地域に根ざした社会貢献

新光電気グループは事業活動を通じて地域社会との共生をはかるとともに、創業以来雇用の維持・安定と新たな雇用機会の創出に取り組んでまいりました。

今後も地域の皆様から信頼され、必要とされる企業を目指すとともに、事業活動および地域活動を通じて地域社会へ貢献してまいります。

地域の皆様とのコミュニケーション

当社では地域の皆様の生活に配慮した事業活動を心掛け、お受けしたご意見・ご要望等については、対策のために調査を行い、速やかに対応するよう努めています。

また、地域住民の皆様にご理解いただくために、工場見学会を開催しています。当社を知っていただくための大切なコミュニケーションの場となっています。

今後も地域に根ざした企業として、地域社会との共生をはかってまいります。

地域行事への参加

毎年8月に開催される長野市の「長野びんずる」と妙高市の「あらい祭り」に社員が参加しています。

2019年は踊り手として総勢161名の社員が参加し、地域の皆様と交流しました。

その他、各工場において地元行事に協賛する等の協力を行っています。



〔地域の祭りに参加（長野びんずる）〕

海外拠点における取り組み

■ SHINKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD. (SEM)

SEM（マレーシア）では、年に1回孤児院への寄付活動を実施しています。2019年度は寄付金その他、食料、衣類を寄付しました。また、社員約40名が孤児院を訪問し、子どもたちと交流を深めました。



〔左側2名：孤児院スタッフ 右側：SEMスタッフ〕

青少年育成支援活動

工場見学、インターンシップ等の受け入れ

工場見学を通じて、近隣の学校等に学習の場を提供しています。2019年度においても、高丘工場・新井工場で小学生から大学生までの工場見学を受け入れました。

新光電気グループでは次世代を担う学生の「職業観確立・適性発見」の有効な足掛かりになるよう、国内に限らず海外拠点においてもインターンシップの受け入れを行っています。

2019年度はSEMにおいても、大学で化学・機械工学を専攻している学生を対象にインターンシップを行いました。



〔小学生による工場見学（高丘工場）〕

公益財団法人北信奨学財団の運営サポート

公益財団法人北信奨学財団は当社の創業者・光延丈喜夫元社長が取締役を退任した際の退職金と保有していた当社の株式を寄付し、これを基金として設立されました。

光延元社長の「ハイテク立県はまず人材育成から」という信念の下、長野県出身または長野県内にある大学の理工系および医薬系の学生を対象（留学生も含む）として、これまで延べ497名に奨学金の支給を行っています。

当社は北信奨学財団の事務局として、運営に協力しています。

「進路のミカタLive長野会場・未来ビュー長野」への参加

2019年度は前年度に引き続き、長野市において開催された「進路のミカタLive長野会場・未来ビュー長野」に当社も参加しました。このイベントは地元企業への就職を促進するため、進学や就職など卒業後の進路を考える高校生を対象として、「学び」と「仕事」のつながりや広がりを知ってもらうとともに、地元の企業や仕事の魅力を伝えることを目的として、開催されたものです。

当社は「エレクトロニクスの製品内部を観察しよう！」をテーマに当社製品にマイクロレベルの迷路の回路をデザインしたサンプルを用意し、学生に顕微鏡を使って迷路に挑戦してもらいました。



〔未来ビュー長野 当社ブース〕

環境保全活動・ボランティア活動

工場周辺美化活動

当社は毎年6月に実施する環境月間を中心に、すべての工場周辺においてゴミ拾いや土手・河川沿いの草刈り、枯れ枝整理等を行っています。

2019年度は計267名の社員が美化活動に参加しました。

また、KOREA SHINKO MICROELECTRONICS CO., LTD. (KSM：韓国) においても、工場近隣の道路や河川の清掃活動を毎年行っています。



〔KSMによる工場近隣の清掃活動〕

ボランティア活動

妙高市クリーンパートナー（地域美化活動）、白馬村植栽活動、長野車いすマラソン等に当社社員もボランティアとして参加しました。

2019年度は上記の活動以外に10月の台風19号で被災された方々の復旧復興のために、社内にてボランティアを募り、ボランティアセンターを通して、家屋の災害廃棄物や土砂の搬出等を行いました。

また、当社では上限20日まで休暇を積み立て、取得できる積立休暇制度（公的機関へのボランティア活動を含む特定の目的に利用）を設けています。



〔白馬村復興支援ボランティアでの花壇整備活動〕

プリペイドカード等の回収・寄付

当社では使用済みのプリペイドカード・切手等を回収し、植林活動のための基金に寄付を行っています。2005年7月に回収を始め、2019年度末までに約970本の苗木に相当する分を回収・寄付しました。



トピックス

◆信州大学工学部と包括連携協定を締結

当社は、2020年7月に信州大学工学部と、研究開発、新事業の創生および人材交流の分野における協力を目的として、「包括連携協定」を締結しました。協定期間は2020年7月から3年間です。

当社と信州大学工学部はともに長野市に拠点を構え当社では多くの信州大学工学部出身者が活躍しています。このような地理的・人的な利点を活かし、人材育成や共同の研究開発など活発な交流を行うことにより、長野から新しい技術や製品を世界に発信し、新たな未来の創出や実現に貢献することを目的として、「包括連携協定」を締結しました。

この包括的な連携のもと、新たな価値のある技術および製品の創造、さらにはSDGsが目指す社会の実現に向けた活動を推進することにより、研究開発の振興と産業の発展に寄与し、地域や社会に貢献することを目指しています。



〔信州大学工学部における調印式〕